

人むすびの場

第17回テーマ
“WA (和)で取り組む！
グローバル時代の対話のヒント”

日時	平成21年11月27日(金) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

“人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすび(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのため、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場をご一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供など、もろもろご意見をお待ちします。



プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ
「WA (和)で取り組む！
グローバル時代の対話のヒント」
東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻
教授 山脇 直司さん
- 19:50 ◆人むすびカフェ
ファシリテーター 角田 知行さん
- 20:55 ◆本日のまとめ
21:00 終了
交流会(うさぎ)

「WA (和)で取り組む！グローバル時代の対話のヒント」

ゲストスピーカー 東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻
教授 山脇 直司さん

公共性の担い手として、個人一人ひとりの「活私開公」、
「和して同ぜず」が大切！



- 「公共哲学」は、総合学問と言われますが、歴史的背景やキーワードの定義や意味など知り、問題意識を深めるヒントをいただきました。
- 民主主義社会において大事なものは、個人一人ひとりからなる民(市民、国民)の公共です。「政府や官の公、民の公共、NGO/NPO・私企業」のアクターが行う「ソーシャル・ガバナンス」は、公共善(平和、福祉、正義、人権、教育、環境保全、まちづくりなど)の実現と、公共悪(戦争、貧困、不正義、人権弾圧、開発破壊など)の除去を通して、「国内および国境を越えた公共世界を創出し共治すること」を目指します。
- 個人を他者との関係の中で活かしつつ、民(人々)の公共を开花させ、政府の公をできるだけ開いていくライフスタイルが「活私開公」。
- 「WA(和)」の概念は、WARに対するものです。
- 「和して同ぜず」という言葉があります。古代中国では、和は異質なものが同質化されることなく、互いに交じり合って調和し発展するという意味が込められていました。今日的に言うと、和は、個人の主体性や多様性を前提として成り立つ概念であり、それに対して、同はそれらを消失させる概念です。
- 聖徳太子の十七条の憲法では、「和らぐを以って貴しと為(す)。さかふること無きを宗と為(す)」とあり、平和と和解の思想として素晴らしいながら、同の論理にもつながる危うさもあります。
- 日本国憲法の前文は、新たな平和をうたい、「活私開公」につながるものと考えます。「活私開公＝個人を活かしつつ公共性を開く」というような形で和を理解しなければなりません。同ではなく、イデオロギーとしての和でもなく、その意味を更新する必要があります。
- 最後に、これからの日本から世界に向けて発信しうる価値理念として、「柔和で和やかな平和な輪(環)」こそ、21世紀にふさわしい思想です。小さな政府、大きな公共で、勝ち組、負け組をつくらぬ愛国心が大切と力説されました。



【山脇 直司さん 経歴紹介】

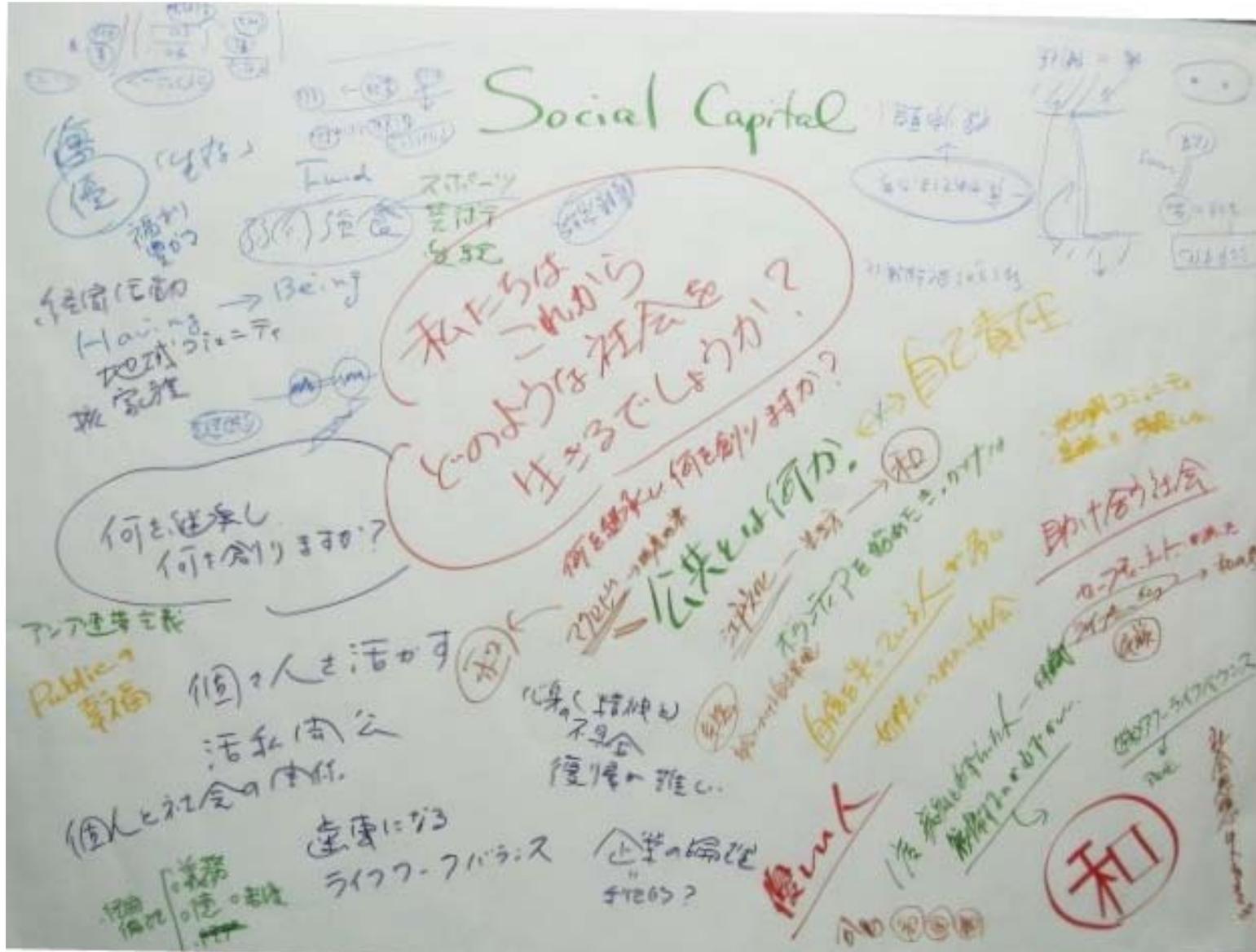
1949年青森県八戸市出身の哲学者。1972年一橋大学経済学部卒業後、1975年上智大学大学院哲学研究科修士課程修了。1978年旧西ドイツミュンヘン大学留学、1982年ミュンヘン大学哲学博士。専門は公共哲学、社会思想史、ドイツ観念論など。東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻教授。経済学から哲学に転じ、ドイツで学位を取得した変わり種だが、最近では日本で支配的な「哲学学」批判と、哲学概念の再検討を含む学問論、およびグローバルな公共哲学を展開している。また、UNESCOの「地域間哲学対話」プロジェクトのコアメンバーも務めている。

人むすびカフェ



人むすびカフェ

「私たちはこれからどのような社会をいきるでしょうか？
何を継承し、何を創りますか？」



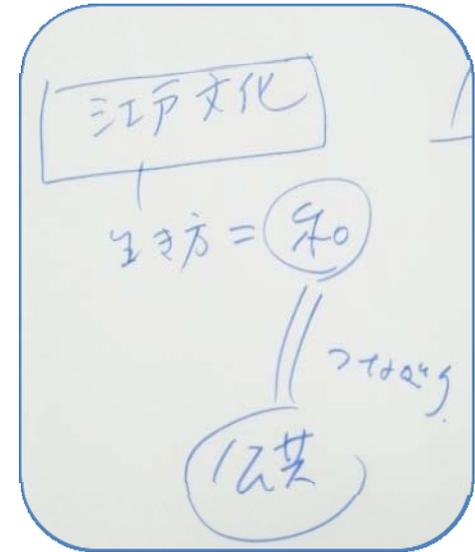
人むすびカフェ

「私たちはこれからどのような社会を生きるでしょうか？」

～～何を継承し、何を創りますか？～～

Publicの
幸福

楽事になる
ライフワークバランス



人は心では（あか）せに
違（ちが）う人が集（あ）まる
集（あ）まる

和
日本の役割「中立」
世界の世話様
榎山 栞

→ 地産地消
公共とは何か？ ⇔ 自己責任

○ 権理
? 推利

本日の感想①

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・和を美しいと感じる心っていいなあ。大切にしたいなあと思いました。
- ・「和」も「新しい公共」も考えていくと深い。
- ・自分へのあらためてメッセージ「誰かはやってくれません！」
- ・「公共」というとらえ方の深み。歴史観から学ぶことの大切さ。
- ・新しい公共という概念。
- ・みなさまの切実な問題意識、活発な討論。
- ・場は「空間」「磁場」だということ。
- ・公共と個人をどのように調和させるか。
- ・人むすびの場の「場」⇒place・field

本日の感想②

* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・誰かはやってくれない。和して同ぜず。
- ・「和」
- ・「ゆらぎ」から自己組織化
- ・公と共の違いについて
- ・活私開公
- ・「優勝劣敗」「弱肉強食」をどうとらえるか。
- ・小さな政府、大きな公共
- ・優勝劣敗
- ・幸福
- ・自己責任

本日の感想③

* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- 人数が少なく、じっくり議論ができました。
- 3ラウンドくらいやりたかった。
- 楽しい話で、時間がなかった。
- 参加人数が少なかったのは残念。
- 自由な討論形式が良かったが、少し時間不足で残念だった。
- もっと掘り下げて話せると面白そうでした。

皆さん、ご一緒に場をつくってくださってありがとうございました。